

3月 国際女性デー (関連図書)



「声をあげて、世界を変えよう！
よりよい未来のための U30 の言葉」

アドーラ・スヴィタク著, カミラ・ピンヘイロイラスト,
長尾 莉紗訳 出版：DU BOOKS

【内容紹介】マララさん、グレタさんだけじゃない！気候変動からトランスジェンダーの権利まで、ソーシャルチェンジのために声をあげたミレニアル～Z世代の若きアクティヴィスト45名のスピーチを紹介する。



「カタリン・カリコ
mRNA ワクチンを生んだ科学者」
増田 ユリヤ著 出版：ポプラ社

【内容紹介】2020年の世界的な新型コロナウイルスの流行に際し、mRNA ワクチンを開発した科学者カタリン・カリコ。様々な困難の中、研究を続けてきたカタリンの半生と彼女を支えてきた人たち、科学の世界のおもしろさを紹介する。



「ガールズ・ビー・アンビシャス
一歩踏み出したいあなたへ贈る21のコトバ」

集英社インターナショナル編, 田中 優子ほか著
出版：集英社インターナショナル

【内容紹介】自らの人生を切り拓くだけでなく、社会通念を打ち破り、世の中の流れに影響を与える女性たち。環境活動家の露木志奈、人権活動家のマララ・ユスフザイなど、あらゆる分野で活躍する女性たちの力強い21のコトバを紹介する。



「チベット女性詩集 現代チベットを代表する7人・27選」

海老原 志穂編訳 出版：段々社 星雲社

【内容紹介】ジェンダー、生命の誕生、故郷の喪失、労働の重圧…。閉ざされた世界をうち破り、自らの人生をうたったチベット女性たちの詩を収録。チベットの女性事情を伝える7つのコラム、漫画家・蔵西による挿画も掲載する。



「たまたま生まれてフィメール」
小川 たまか著 出版：平凡社

【内容紹介】結婚と夫婦別姓、政治とジェンダー、透明化される性犯罪被害者の声…。この国で生きる女性やマイノリティが直面する困難を問い直す、フェミニズム・エッセイ。



「女の子がいる場所は」
やまじ えびね著 出版：KADOKAWA

【内容紹介】「わたしたちは結婚しないと生きていけないの？」サウジアラビアに暮らす10歳の少女サルマ。同級生の姉は、顔も見たことのない8つも年上の男性と結婚する。外ではヴェールが必要で、大好きだったサッカーはもうできない。モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本……国も宗教も文化も違う少女たちに降りかかる「女の子だから」を見つめる作品集。



「フェミニズムズ グローバル・ヒストリー」

ルーシー・デラップ著，幾島 幸子訳 出版：明石書店

【内容紹介】フェミニズムは長らくジェンダー正義を追求してきたが、そこにはしばしば対立も伴った。私たち一人ひとりは、この歴史にいかなる「使い道」を見出すべきか。普遍的な定義に依拠しないフェミニズムズの探求へと誘う。



「なぜ男女の賃金に格差があるのか 女性の生き方の経済学」
クラウディア・ゴールドイン著，鹿田 昌美訳
出版：慶應義塾大学出版会

【内容紹介】育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。



「せかいでさいしょにズボンをはいた女の子」

キース・ネグレー作，石井 睦美訳 出版：光村教育図書

【内容紹介】今から約150年前、女性はズボンをはいてはいけないという常識に疑問を投げかけ、非難されても抵抗した少女がいた。後に女性初の軍医として活躍し、フェミニストとして知られたメアリー・E・ウォーカーの幼い日を描く。

関連図書58冊
ご予約もできます

(TRCMARC より抜粋)

